

## 令和7年度 教科研修会 I 社会科 授業の様子

単 元 名	ヨーロッパ人との出会い		
授 業 学 級	2年C組 (39名)	授 業 者	池田 遼
教 科 の 学 び	時代の比較、事象の要因と影響、多面的・多角的に考察する学習		

### 【本時の様子】

生徒は、「なぜ16世紀にヨーロッパで香辛料の値段が安くなったのか」を考えるために、ヨーロッパと他の地域との関わりや交通路の変化に着目して、教師が提示した資料を基に、15世紀と16世紀を比較しながら追究を行いました。

「大航海時代が始まったことで香辛料をアジアから直接入手できるようになったから」と考えた生徒は、その理由として、資料を基にしながら「ルネサンスを通してヨーロッパで羅針盤や世界地図が実用化したことで、3人の航海者が海路で世界中に進出したことが大きかった」と自分の考えをまとめ、全体追究の場で意見を発信しました。

授業後半では、教師からの「大航海時代によって世界が平和になったのか」という問い掛けに対して、「アジアに進出をしたときに侵略をしている」「アメリカ大陸は文明を滅ぼされている」「アフリカ人にとっては奴隷としてアメリカ大陸に連れてこられたから平和ではなかった」と多面的・多角的に意見を交わす生徒の姿がありました。

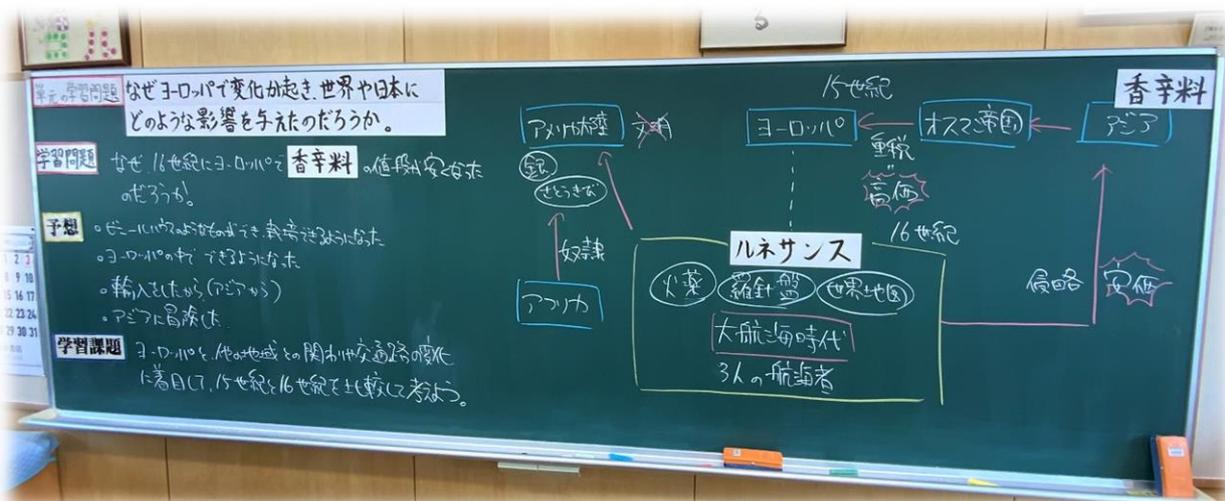
次時は、ヨーロッパ人との出会いによって日本の社会がどのように変化したのかを資料を活用して追究していきます。空間も時間も離れているように思われる事象が、現代の日本につながっていることが実感できるように、生徒と共に歩みたいと思います。



生徒に寄り添う教師  
(個人追究)



全体追究の様子



本時の板書